

女性の相談窓口

2022年度相談日

第1月曜 第2・4火曜 第3土曜

7月	4日	12・26日	16日
8月	1日	9・23日	20日
9月	5日	13・27日	17日
10月	3日	11・25日	15日
11月	7日	8・22日	19日
12月	5日	13・27日	17日
1月	16日	10・24日	21日
2月	6日	14・28日	18日
3月	6日	14・28日	18日

ひとりで悩まないで話してみませんか？

悩みや不安があって、誰かに話したいときはありませんか？
専門の女性カウンセラーが、心の整理のお手伝いをします

実施日時

第1月曜	午後1時～午後4時
第2火曜	
第3土曜	午前9時30分～午後0時30分
第4火曜	午前10時30分～午後1時30分

相談時間は1組50分まで(無料)

祝日の時は日程を変更します(左表下線) **相談員** フェミニストカウンセラー(女性)

実施場所 きらっとぴあ
予約・問合せ 072-247-7047
・匿名でも予約・相談できます
・秘密は厳守します

〇いろいろ悩んでいるけど、どこに相談したらいいかわからないとき

「女性のためのよりそい☎ホットライン」へ
まずお電話してみませんか？

どんな些細なことでも大丈夫です！
お話をすることで解決の糸口に繋がるかも？
専門の女性相談員がお話をお聴きします。
秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。
(無料)

相談専用電話
090-2112-3970

(こちらにお電話ください。
折り返しお電話させていただきます。)

実施期間 2023年3月31日まで
年末年始(12/29～1/5)、祝日は休み
相談日時 毎月第2・4月曜日 午前10時～午後5時
第1・3火曜日 午前10時～午後5時
受付は午後4時30分まで

※予約不要
詳細については下記にお問い合わせください

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)へ
まず相談してみませんか？

CSWは、大阪狭山市(福祉グループ)が設置している相談機関の
ひとつで、市内にお住まいの方を対象とした地域の相談員です。
悩みがあるけど何から解決すればいいかわからない、
何となく生活がうまくいかないけれど、誰に相談すればいいか
わからない等、漠然とした悩みを一緒に整理するお手伝いをします。
秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください**(無料)**

◇◇相談先◇◇
【狭山中学校区・第三中学校区】社会福祉協議会
(072-367-1761)
【南中学校区】福祉グループ
(072-366-0011)
受付時間 月曜日～金曜日(午前9時～午後5時30分)

大阪狭山市役所の相談窓口
●DV・性犯罪・性暴力にお悩みの方の相談
DV相談専用ダイヤル **072-349-8819**(担当グループ直通)
相談日時 平日午前9時30分～午後5時30分

大阪狭山市男女共同参画推進センター きらっとぴあ

〒589-0005 大阪狭山市狭山一丁目862-5
大阪狭山市役所南館1階

電話・FAX 072-247-7047

E-Mail os-gender@water.ocn.ne.jp



HP、QRコード

きらっとぴあのHPです！

<https://os-gender.jimdofree.com/>

※この施設は、特定非営利活動法人ふえみばる堺と大阪狭山市が
協働事業として事業運営しています

◆利用時間◆
平日 午前10時～午後5時
土曜 午前 9時～午後0時 (第1.3)



きらっとぴあ つうしん

Vol.42

大阪狭山市男女共同参画推進センター
きらっとぴあ 2022年7月発行



今更ですが

「きらっとぴあ」特集！！

「『きらっとぴあに行くねん！』と言っても、必ず『どこそれ？』『何するところ？』と言われるんです」と、きらっとぴあアンバサダー1期生のみなさんがおっしゃっていました。まだまだ「きらっとぴあ」の認知度が低いと実感したスタッフ一同でした。そこで、今更ですが、改めて「きらっとぴあ」を特集してみました。

Q:「きらっとぴあ」って、どんな施設？

A:「きらっとぴあ(大阪狭山市男女共同参画推進センター)」は、大阪狭山市の男女共同参画を推進するための拠点施設です。男女共同参画に関する学習の場・交流の場・情報提供の場です。
自分自身が力を発揮できるように、また、もともと持っている力に気づけるように様々な講座や交流事業を行っています。「わたし」が元気になれる!!施設です♡♡♡

Q:「きらっとぴあ」は、いつできたの？

A:大阪狭山市は、男女共同参画社会の実現に向け、市、市民、市民公益活動団体及び事業者が協働して男女共同参画の推進に取り組むことを決意し、2006年に大阪狭山市男女共同参画推進条例を制定しました。
市はこの取り組みを充実させるため2008年9月、拠点となる男女共同参画推進センターを設置しました。それが「きらっとぴあ」です。2022年9月で、設立14年になります。

Q:「きらっとぴあ」って、どういう意味？

A:男女共同参画推進センターの愛称を募集したところ、全国から40作品のご応募をいただき、愛称選考委員会で選考した結果、「きらっとぴあ」に決定しました。
「きらっとぴあ」は、男女共同参画社会に向けて、未来に輝く理想の大阪狭山市を創造することを表現しています。「とぴあ」は理想郷のユートピアから、併せて「ぴあ」は仲間や中核拠点を意味し、「あ」には明日、未来の意味を込めています。
ひらがなを使うことで、親しみやすさを表現しています。

Q:「きらっとぴあ」では、何をしているの？

A:男女共同参画社会(男女が互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会)を目指して、まずは女性に元気になってもらうための様々な講座や交流会、女性のための相談事業を実施しています。例えば、
■ほっとさろん(おしゃべりしながら手作りのものを作成したり、ゆったりと体を動かしたり、楽しく時間を過ごすための月1回の交流会)
■きらび☆トーク(毎月1回テーマを設定して、フェミニストカウンセラーとともに、トークします。少人数で、わいわいがやがや楽しく話をしながらジェンダーについても学べる交流学習会)
■DV情報提供講座(年3回)
その他、様々な講座を実施しています。詳細はHPにてご覧ください。
また、女性専用電話相談「女性のためのよりそい☎ホットライン」、フェミニストカウンセラーによる個別の面接相談、必要な方への生理用品の無償提供も行っています。ぜひ一度ご利用下さい！！

きらっとぴあの
図書コーナー

「きらっとぴあ」に、図書コーナーがあるのをご存知ですか？
図書コーナーには、ジェンダー、子育て、生き方、絵本、
趣味の本などの図書があります。
お子さまが遊ぶスペースはありませんが、
きらっとぴあがある大阪狭山市役所南館
館内のソファスペースで閲覧も可能です。
もちろん貸し出しも行っていきます。
お気軽にご利用ください。

【貸出】お1人様3冊まで
(図書カードをお作りします)
【貸出期間】2週間



きらっとぴあには
こんな図書もあります♡



15歳のコーヒー屋さん
発達障害のほくがができることから
ほくにしかできないことへ
岩野響 著
株式会社KADOKAWA



しっぱい!とおもったけど
トッド・パール 作つたゆうこ 訳
(株)解放出版社



はやくはやくいわないで
益田ミリ 作 平澤一平 絵
ミシマ社



ねぬ
こしだミカ 著
架空社



「織細さん」の本
武田友紀 著
飛鳥新社



ほしいものはなんですか?
益田ミリ 著
ミシマ社



「ああ息子」
西原理恵子+母さんズ 著
毎日新聞社



ああ娘
西原理恵子+父さん母さんズ 著
毎日新聞社



きらっとぴあアンバサダーの
おすすめ図書紹介



女の子が生きていくときに、
覚えていてほしいこと
西原理恵子 著
角川書店

夫とケンカばかりしていた頃、その事を母に何度かグチった事がある。その時母は「手に職があれば離婚できたのにね。」と言った。自分で稼げるかどうかで人生は大違い。それを実感した。

「母だから、妻だから、女だから」そう言って我慢するのは、それが一番ラクだからだと思うが、その我慢の先に幸せはあるのか?とも思う。自立は大事。『自由ってね、有料なんですよ。』の一文が印象的だ。

きらっとぴあアンバサダー1期生 横山華奈子

作家さんの日常をのぞき見し、思いっきり脱力できた。
日々追われている人も、そうでない人も息抜きに最適!!
きらっとぴあアンバサダー1期生 波多辺真伊

今日の人生
益田ミリ 著
ミシマ社



屠場
本橋成一 著
平凡社

アニマルウェルフェア(動物福祉)、ヴィーガン...昨今畜産動物をとりまく待遇の見直しがなされたり、動物虐待につながる全ての動物性食品を消費しないライフスタイルが流行したりしているが、実際は多くの人間が動物の命を消費して生きている。本書は、ただそのことだけ、ただそのために生きる人々を追った写真集である。生き物の命を頂くことへの感謝、人間の営みの根底、生と死を考えずにはいられない記録である。

きらっとぴあアンバサダー1期生 波多辺真伊

【編集後記】

昨年度「きらっとぴあアンバサダー養成講座」を実施しました。「参加者の皆さんに男女共同参画について学んでもらえる!講座後は、お手伝いという形ではあるが『きらっとぴあ』の事業に参加することで『自分にもできることがある!』と自己肯定感もあげてもらえる!なんていい講座なんですよ!」と、若干上から目線の思考だった私...

とんでもない話でした!参加者の方々に支えられ教えられ、皆さんがいるからこそ「きらっとぴあ」が成り立っていることに気が付きました。皆さんに大感謝です。

今年度も、「アンバサダー第2期生養成講座」が6月から始まっています。まだ今からでも遅くはありません。興味のある方は、ぜひともご参加ください。(A)

「きらっとぴあ」での体験で気づいたこと

私と「きらっとぴあ」との出会いは、数年前に保育付きの母親向け講座を受講したことでした。その頃は「きらっとぴあ」がどのような場所で、何のためにあるのか知らないまま、また知ろうともしないまま、「子どもと一緒に講座を受けられる」ということに魅力を感じ、まだ幼かった第三子を連れて参加しました。内容に興味を持ったことも受講のきっかけですが、育児に煮詰まっていたこともあり、とにかく外に出たかったという思いが強かったです。受講してみて「母になっても自分の時間を持つことは大切」ということが印象に残っています。私にとってそれはなかなか難しいことでしたが、何か一歩踏み出してみたいと思ったことを覚えています。

その時に出会ったほかのお母さん方と、その後も情報交換したり交流を図ったりできるよう「きらっとぴあ」のスタッフさんがフォローしてくださり、みんなで「子供服交換会」をさせていただいたことは貴重な体験となりました。その後もメンバーの友人にも手伝ってもらいながら、自分たちだけでも数回開催しました。来場して下さったお母さん方に喜んでいただけたことは、私にとっても大きな喜びでした。この経験は「きらっとぴあ」とつながることができたからこそであり、私も母親という役割以外に「何かかにチャレンジすることができた」ということがとっても嬉しかったです。

私には育った環境によるジェンダーバイアスが染みついています。今でも自分自身のこと何かをしようとするとき、必ず「自分は母親である」ということを一番に頭に置きます。それは今の自分にとっては窮屈な事ではありませんが、今後もしかしたら、自分の生きる世界を狭くしてしまうかもしれないと、最近思うようになりました。

きらっとぴあアンバサダー1期生 波多辺真伊